

## 国際協力・ソーシャルビジネス アジアカンファレンス2016



# 実施報告書

2016年12月29日発刊

2016年11月19日（土）JICA 地球ひろば（市ヶ谷） 主催：特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン

# 代表挨拶

## 目次

代表挨拶	2
開催概要・協力	3
プログラム	5
総括	6
詳細報告	7
広報報告	14
次年度に向けて	15
連絡先情報	16
担当者	16
団体	16

---

# 代表挨拶

## 代表挨拶

平成 28 年 11 月 19 日、約 1 年をかけて企画運営してまいりました「国際協力・ソーシャルビジネス アジアカンファレンス 2016」を無事に終了させていただくことができました。ご協力・ご協賛いただいた皆様に、代表して深く御礼申し上げます。

本カンファレンスでは、ソーシャルビジネスの使命やビジョンにおいて共通点を模索し、国際協力の未来について考え、10 年後に繋がる事業展開や協働の創出を目指しておりました。

当日は、社会起業家、アドバイザー、参加者が一体となるディスカッションの時間を多く取れるよう、分科会では真剣に語り合う場になることを重視し、主体的かつ前向きな対話の中からご参加いただいたすべての方々が情報収集だけでなく、当事者としての気づきや次へのステップを生み出す新たな視点を抱かれたのではないかと存じます。

昨今、日本でも相対的貧困、少子高齢化、食の安全、自殺率、地方衰退、防災など数えきれないほどの大きな社会問題が生じております。そのひずみを埋める草の根支援活動の持続可能性を考えた時、ソーシャルビジネスは更に欠くことのできないファクターとなっていくでしょう。

現実には追求する利益の置き所によってマネタイズが難しい分野でもあり、試行錯誤や深い問いを抱え続けることを余儀なくされるかもしれません。その分岐点を超えていくために同じ悩みを持ち、語り合える仲間がいることでより強固な活動分野となり、その社会的使命や責任を果たすことができるのではないかと強く感じております。

今回のカンファレンスがそうした場を作り、日本から世界を変えていくきっかけの 1 つとなることを願ってやみません。どうぞ今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン 理事長

UNIQUEASE CORPORATION (Philippines) General Manager

中村八千代



# 開催概要・協力

## 開催概要・協力

### 背景

ASEANの途上国では、GDP伸び率が5.7%（2016年アジア開発銀行調べ）の高さを誇りながら、貧富の格差や階級格差などの様々な社会課題が解決せず、経済発展から取り残されいまだ日常的に生命の危機に瀕している人々が国民の大半を占めている。

日本国内では社会課題解決の手段としてソーシャルビジネスが注目され、全体の市場規模平均成長率が26.3%（※IDC Japan（株）2015年9月調査）と急伸している。

しかしアジアの途上国では現地特有の法律、国民性、商慣習などが障壁となってソーシャルビジネスの参入や収益化の難しい実態がある。

### 開催の目的

設立当初からフィリピンの社会的企業と協働し、恵まれない環境下の青少年の自立支援を行ってきた当団体は、これまでの知見やネットワークを生かし、国際協力を補完する新たな事業体としてソーシャルビジネスによる市場拡大により日本とアジアの継続的な共生社会の実現を目指すこととした。

アジアの社会課題にビジネスで挑戦する若手社会起業家の創出・育成・サポートのため、国際協力に関心のある様々な人材の積極的な参加、人材育成、事業の創出や関係者の連携、自然発生的なネットワークの生み出し・継続性を高めるカンファレンスを開催。

ロールモデルとして、アジア各地の社会起業家のトップランナーの皆様や日本のビジネスシーンの第一線で活躍されるハイキャリアの皆様をアドバイザーとして招請。基調講演、パネルディスカッション、分科会、懇親会と参加者の関心のステージに合わせた様々なイベントで社会起業家や他の参加者の取り組みや考え方を深く知り、新しい視点や広い視野を得、刺激と影響を受け合い、次への1歩を着実に踏み出せるような場作りを行う。

### <概要>

名称	国際協力・ソーシャルビジネス アジアカンファレンス 2016
開催テーマ	支援を超えた`Co-creation`
開催日時	2016年11月19日（土）10:00-17:00
開催場所	JICA 地球ひろば（市ヶ谷）
主催	特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン
対象	アジアでの国際協力やソーシャルビジネス、起業、グローバルキャリア、ビジネスチャンスに興味のある社会人及び大学生。
入場料	社会人 3000円、大学生・高校生 1500円
来場予定	150名
事務局	特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン内 カンファレンス事務局

# 開催概要・協力

## <協力>

後援 外務省、中小企業庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、国際機関日本アセアンセンター

## 全体協力

中村 八千代 氏	社会起業 NPO 法人ユニカセ・ジャパン理事長／ユニカセ・コーポレーション General Manager
西垣 充 氏	社会起業家 JAPAN SAT CONSULTING CO.,LTD. 代表取締役・チーフコンサルタント
水井 裕 氏	社会起業家 株式会社ココウエル代表取締役
柳 邦明 氏	社会起業家 株式会社エルフ商事 代表取締役／NAGOMI CONSULTING Pvt.Ltd Managing Director
高濱 宏至 氏	社会起業家 NPO 法人 Class for Everyone 代表理事

## 分科会協力

### Workshop —フレームワーク PCM「未来をカタチにする」—講師

河辺 亮輔 氏	Harmony Preschool International 代表
Pitch Event —「想いを実現する」— アドバイザー	
堤 周二 氏	野村証券株式会社 大阪コーポレート・ファイナンス三部長
石田 充孝 氏	伊藤忠商事株式会社 統合リスクマネジメント部
麻田 玲 氏	笹川平和財団シニアリサーチャー

# プログラム

## プログラム

内容
<p>基調講演 (10:05-10:30)</p> <p>「国際協力の新しいカタチ - 社会的企業の挑戦 -」 国際協力の現場からソーシャルビジネスへ転身した女性起業家が社会的企業設立までの想いや役割、未来を語る。</p> <p>◆講演 社会起業家 中村八千代 氏</p>
<p>パネルディスカッション (10:45-11:30)</p> <p>「今を変える、未来が変わる - 社会起業家たちの想い -」</p> <p>ソーシャルビジネスのトップランナー5名が一堂に会し、起業やビジネスの現場でのリアルな経験をシェアする。</p> <p>◆参加社会起業家 パネリスト: 西垣 充 氏、水井 裕 氏、柳 邦明 氏 ファシリテーション: 高濱 宏至 氏、中村八千代 氏</p>
<p>分科会1 (14:00-17:00)</p> <p>Workshop - フレームワーク PCM「未来をカタチにする」 -</p> <p>国際開発の世界で広く活用されているマネジメントツールである PCM (プロジェクト・サイクル・マネジメント) を土台としたワークショップ。講師とともに、国際協力プロジェクトの創り方を簡単に学びながら、事業アイデアの明確化を行う。</p> <p>◆講師 社会起業家 河辺 亮輔 氏</p>
<p>分科会2 (14:00-17:00)</p> <p>Pitch Event: 「想いを実現する」</p> <p>国際協力で新規事業開発を目指す起業家の卵たちがイノベーションを生み出す事業アイデアを発表。実現に向けてアドバイスやサポーターを募る。</p> <p>◆参加アドバイザー 堤 周二 氏 野村証券株式会社 大阪コーポレート・ファイナンス三部長 石田 充孝 氏 伊藤忠商事株式会社 統合リスクマネジメント部 麻田 玲 氏 笹川平和財団シニアリサーチャー</p> <p>◆参加社会起業家 高濱 宏至 氏</p>
<p>分科会3 (14:00-17:00)</p> <p>Communication Space: 「社会起業家たちと語ろう」</p> <p>社会起業家を身近に囲みながら、参加者同士がより親しく国際交流や国際協力の情報交換を行い、出会いと Co-creation (共創) を生み出す。</p> <p>◆参加社会起業家 中村八千代 氏、西垣 充 氏、水井 裕 氏、柳 邦明 氏</p>
<p>懇親会 (17:30-20:00)</p>

# 総括

## 総括

特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン カンファレンス事務局

アジアのソーシャルビジネスに特化した本カンファレンスは、分科会で締め切り 1 週間前には定員に達し、その後も参加希望の問い合わせが続くなど、開催前から期待の大きさを感じる滑り出しとなった。

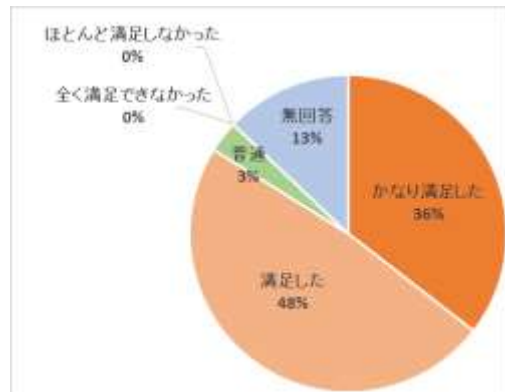
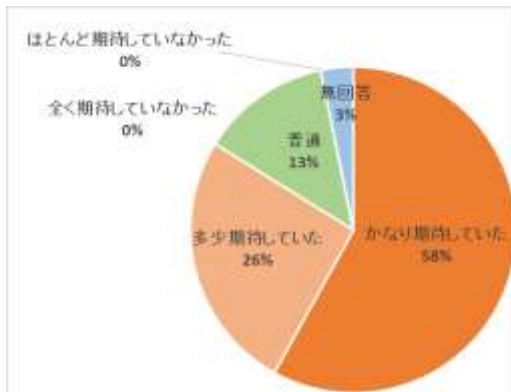
当日は朝から冷たい雨の降るなか、合計 151 名の方にご出席（ご招待者、スタッフ含む）をいただき、社会起業家やアドバイザーなどゲストが多数参加した熱いセッションが各所で行われ、終日大盛況となった。

アンケートの結果では、カンファレンス全体に 74%の方が満足したと回答（「かなり満足した」36%、「満足した」48%）、また次回開催の要望も多く寄せられるなどおおむね好評を博すことができた。

一方、100 人を超える規模のイベントの企画運営は当団体では初の試みということもあり、当日の会場設営やタイムスケジュールの遅れなど全体のオペレーションが未熟な部分が見られ、またそれぞれの分科会でも個別の反省点があがっており、以下に詳細をまとめ、次回開催時への課題としてしっかりと生かし、開催の意義と結果の追求を今後も行っていく。

Q1. 本日のイベントをどれくらい期待していたか？

Q2. 本日のイベントに、どのくらいご満足いただけましたか？



### ■参加者の声■

- ・官が主導したイベントでないので、本音が聞けたと思う。熱気があった。
- ・実践的な社会改善のプロセスを聞くことが今後の研究の助けになった。
- ・海外で日本人が起業する意味が分かった。世界から見た日本人の特徴を世界で生かしていきたい。
- ・学生の新しいアイデアに、その道のプロの方々がアドバイスしておられ、それを聞くだけで視野が広がった。



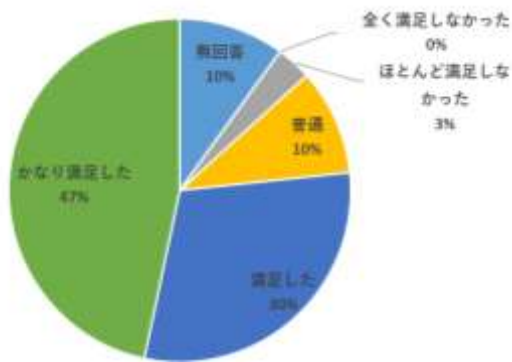
# 詳細報告

## 詳細報告

### 1. 基調講演「国際協力の新しいカタチ ―社会的企業の挑戦―」

総括： 今回の基調講演は、ユニカセ・ジャパン理事長の中村八千代によって行われた。貧困の青少年に雇用とビジネストレーニングを提供するユニカセの取り組みや、背景にあるフィリピンでの社会課題、雇用の状況全般について、また、一方的な支援の形に限らない多様なあり方についてなど約 20 分間の講演を行った。

今回はユニカセ・レストランで約 5 年間働いてきたレアさんも登壇、現場の生の声を届け、参加者に一層深い理解と共感を与えた。



#### 参加者の声：

- ・ユニカセの話を通じて、足元からの国際協力、現地支援の方法に心打たれた。
- ・質問の時間があれば、もっと深い内容が聞けたと思いました。
- ・レアさんのお話を聞けたので、ユニカセの活動のインパクトをより深く理解することができた。
- ・NGO などの支援団体の取り組みと社会起業の取り組みの相違点などをよく理解でき、社会起業の存在の重要性を知ることができた。
- ・アジアでの問題に触れながら、協力していくという姿勢に大変共感した。

講演 社会起業家 中村八千代 氏

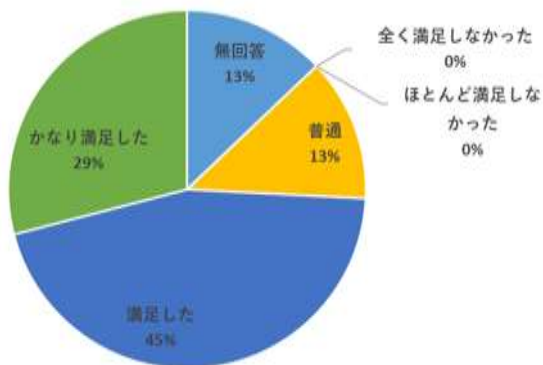




# 詳細報告

## 2. パネルディスカッション「今を変える、未来が変わる ―社会起業家たちの想い―」

総括： パネルディスカッションでは、アジア各国でソーシャルビジネスを経営する社会起業家を5名による約50分間のパネルディスカッションを行った。展開する国固有の情報や課題の他、共通する問題点へのアプローチなど新たな視点を参加者にも問題提起のできる時間となった。ただ質疑応答の時間を十分に取ることができなかつたため、一方的な情報提供に偏り、参加者の考えをアウトプットし醸成させることのできなかつた点が非常に残念であった。参加者からのアンケートコメントにも時間が足りないという意見が多く見受けられた。



### 参加者の声：

- ・それぞれの起業家の方の想いや経験を時間をかけてお聞きすることができ、意見の共通点や違いがとても興味深かつた。
- ・海外で日本人が起業する意味が分かりました。世界から見た日本人の特徴を世界で生かしていきたいと思う。
- ・一時間はかなり短いと感じた。お昼の時間をけずってでも、会場を巻き込んだ全体討論をすると良いと感じた。
- ・”Raise your dream”、とても聞きなれてしまった言葉に思えるが、とても力強く説得力を持って聞こえてきた。蛙の子は蛙ではない人生があることを信じて社会を変える一員になりたいと思った。

### 参加社会起業家

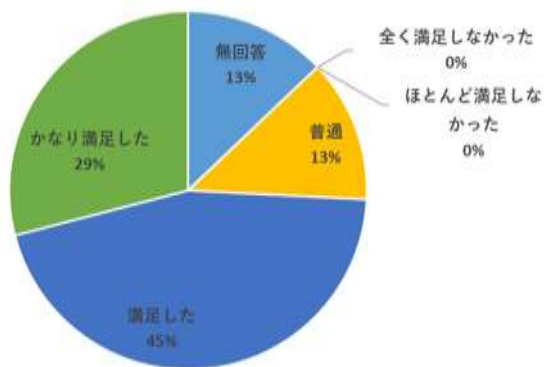
パネリスト:西垣 充 氏、水井 裕 氏、柳 邦明 氏  
ファシリテーション:高濱 宏至 氏、中村八千代 氏



## 3. Pitch

# 詳細報告

総括：ピッチイベントでは、社会的プロジェクトを立ち上げたいと思っている学生を公募。4組がプレゼンテーションを行った。その後、アドバイザーとして、企業で働く方々や財団でリサーチャーとして働いていらっしゃる方、参加者にご協力いただき、プロジェクトへのフィードバックをいただいた。発表した学生たちからは、自分たちにはなかった視座でプロジェクトを見ることができ、課題が明確になった、などの意見もいただいている。各グループでの発表とフィードバックが熱く展開され、もう少し時間的な余裕を持たせたほうが良いとのこと意見があがるほどであった。



## 参加者の声：

- ・学生の新しいアイデアに、その道のプロの方々がアドバイスしておられ、それを聞くだけで視野が広がりました。
- ・もっとたくさんの方がプレゼンするのかと思っていました。ちょっと話を理解しきれなかったのですが…でも楽しかったです。貴重な経験ありがとうございました。
- ・少し時間が足りないくらいだった！
- ・社会人からのアドバイスはリアルで本質的だった。

## ◆参加アドバイザー

堤 周二 氏

野村証券株式会社 大阪コーポレート・ファイナン三部長

石田充孝 氏

伊藤忠商事株式会社 統合リスクマネジメント部

麻田 玲 氏

笹川平和財団シニアリサーチャー

◆参加社会起業家 高濱 宏至 氏



# 詳細報告

## <Pitch Event プレゼンター>

阿蘇理子さん 井上鈴菜さん	順天高等学校 2年	テーマ：フィリピンの食品の日本普及による雇用創出
岩井 玲さん	立教大学 1年	テーマ：島留学を通しての国際交流
倉谷克明さん	明治大学 1年	テーマ：フィリピンの農村・野菜有機栽培の活性化について
永栄早紀さん	鳥取大学	テーマ：学食を通しての途上国支援

## <プレゼンターからの感想>

### ■良かった点

・提案事業に明確な目的、ターゲットがあったが、軸となるテーマが無かった。そこに対して多くのフィードバックを受けることが出来たため、自分たちが参加者に伝えたい事、見てもらいたいことについて考え直す機会を得ることが出来、視野の狭さに気付くことが出来た。

・たとえフィールドは小さくても、やれることは多数あり、本格的な「事業」について考えることが出来た。実際にソーシャルビジネスを成功させることが出来た方々の視点があったからであり、プロジェクトの主軸とフレームを見つめ直し、深めていく必要性を実感した。現在、フィードバックをもとにプロジェクトを改善している。大きなテーマ、伝えたい事の明確化に取り組んでいる。

・あらゆる分野でご活躍されている大人の方々とお会いすることが出来た点やピッチイベントにて、席をローテーションすることによって必然的に多くの方々にプロジェクトを発信することが出来た。

・もやもやを形にすることが出来た。また、伝えることの難しさや大変さもヒシヒシと感じた。自分がこの計画をすることで、誰にどのようなメリットがあるのか、何を一番にやりたいのか、ということ改めて考え直すことが出来、企画をすることで、どうなってほしいのかという先の見通しをもう1度考え直さないといけないと感じた。

・イベントに参加されている方々が、とても面白い活動をされている方々ばかりでとても刺激があり、またとても面白い時間を過ごすことが出来た。良いアドバイスや、頑張れ！と背中を押していただいたので、頑張りたいと思う。

・ビジネス面、社会貢献活動で活躍している人たちからの多様なFBをいただき、気づいていなかった部分を見ることができた。彼らが本当に必要としているものを見ていなかった。

### ■今後のイベント改善点

・他の話も聞きたかったなと思った。また、自由に回る形式にしていたので人数にばらつきがあったのが気になった。

・ピッチイベントにて、プレゼンターが全体の前でプレゼンをすることで、フィードバックの時間を増やすことが可能になる。また、フィードバック用の紙を用意することで、プレゼンター側は聞くことに集中することが出来たと感じた。

・グループ別にプレゼンターも謝礼を込めた感想を最後に述べることで、互いに良い締めをつくりだすことが出来たのではないかなと思う。



# 詳細報告

## 4. Workshop: デザインシンキング-PCM「未来をカタチにする」-

総括：PCM（プロダクト・サイクル・マネジメント）のワークショップでは、通常合宿形式で行うマネジメントのフレームワークを一部切り出し、ケーススタディとともに考えた。人数を絞って開催したこともあり、参加者同士の距離がとても近く、楽しく、真剣に討議の行われるワークショップが実現した。

参加者の声：

- じっくりディスカッションできた。
- 大学での授業づくりにとても参考になった。

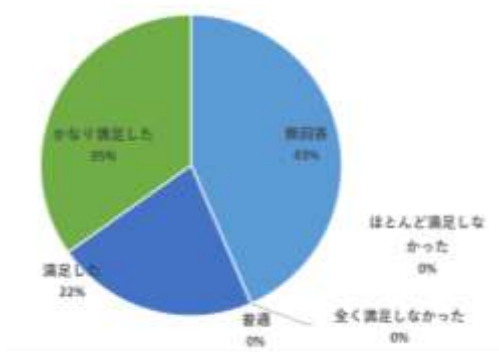
講師 社会起業家 河辺 亮輔 氏



# 詳細報告

## 5. Communication Space : 「社会起業家たちと語ろう」

総括：パネルディスカッションに参加していただいた起業家の方々と参加者の方々がゆっくり話せる自由な場として、コミュニケーションスペースを開催。各社会起業家と親しく話の出来るグループセッションを各30分で全5回設け、3時間ほどかけて午前中のパネルディスカッションでは話しきれなかった起業への想いや体験談、現状課題のシェアや参加者からの相談、アドバイスなどを行い、濃い関係構築の場となった。



### 参加者の声：

- ・4人のパネラーの方々の体験談が面白かった。
- ・3時間という時間をかけて、それぞれの起業家の方々とはもちろん、参加者の方の質問にも多くの気づきがあり、満足した。
- ・起業家の方たちの熱い思い、志に触れられた。刺激を受けた。
- ・距離が近く、時間も比較的余裕があり、個々の起業家のストーリーを聞くことができてよかった。
- ・ゆっくりと、たっぷりお話する時間があって良かった。

### 参加社会起業家

中村八千代氏、西垣充氏、水井裕氏、柳邦明氏



# 詳細報告

## 6. 懇親会

総括：分科会終了後、参加者（講演者、パネリスト、後援団体、協賛企業・団体、来場者など）が自由に情報交換できる軽食付きの懇親会を開催。本イベントは1日を通して行われたが、最初から続けて参加された方も多く、当日知り合った参加者同士や社会起業家との関係構築がより熱心に行われたほか、終始あたたかい雰囲気に包まれ、あちらこちらで和やかな談笑の声が上がる時間となった。最後にカンファレンスの来年度開催と再会を期して、名残惜しい雰囲気のまま散会となった。





# 広報報告

## 広報報告

### 実施先及び結果

#### ■掲載先■

朝日新聞DIGITAL、広報しんじゅく、JICA地球ひろばHP（イベント開催情報ページ）、JICA地球ひろばfacebook、日本アセアンセンターニュースメール、公益社団法人日本フィランソロピー協会メールマガジン、本イベントHP、団体HP・ニュースメール・facebook等

※特に本団体facebookでは、2.7万人のリーチと3000人強の方の閲覧、カンファレンスのWEBページも5000人の方が閲覧される等ソーシャルビジネスや社会起業家、国際協力への広い関心を感じる結果となった。



#### ■チラシ配布■

700枚（主な配布先／JICA地球広場、グローバルフェスタ2016、東京ボランティア・市民活動センター等）

※今回、外務省、中小企業庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、国際機関日本アセアンセンター様に後援いただいたことで、公的施設等でのチラシ配布などがしやすくなり、より多くの方に本カンファレンスの告知やチラシを通じた国際協力及びASEAN諸国での起業や社会的企業への関心を喚起することができた。

#### ■カンファレンスHP■



# 次年度に向けて

## 次年度に向けて

今回、1日に集約したことでメリットもあったものの、参加者からは他の分科会にも参加したかった、時間が足りなかった、ピッチイベントのプレゼンターのその後のフォローを定期的実施したい、などの意見も出され、来年度は半期ごとに2回に分けて実施。それぞれアプローチを変えつつ年間を通してソーシャルビジネスによる市場拡大により日本とアジアの継続的な共生社会の実現を目指すこととした。

日程(仮)：2017年5月28日(日)、11月19日(日)

集客目標：240名 (各日120名)

仮スケジュール：

<2017年5月28日(日)>

13:00-14:30 基調講演

15:00-18:30 ピッチイベント

<2017年11月19日(日)>

13:00-14:00 基調講演

14:30-18:00 パネルディスカッション

18:30-20:00 交流会&アフターパーティー



# 連絡先情報

## 連絡先情報

### 担当者

河村有紀 事務局長	飛矢智希 学生スタッフリーダー	玉井仁和子 学生スタッフサブリーダー
電話 :090-3222-3125 Fax :03-6356-4861 (平日 9:00-18:00) Email :Kawamura1@uniquease.net	Email :tomoki.hiya@uniquease.net	Email :niwako.tamai@uniquease.net

### 団体

特定非営利活動法人ユニカセ・ジャパン

<http://www.uniquease.net>

E-mail : [info@uniquease.net](mailto:info@uniquease.net)

電話・Fax : 03-6356-4861 (平日 9:00-18:00)

Website : 団体ページ <http://www.uniquease.net>

